

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習 時間数	6 時間
講習の名称	【選択】「辞書」を巡る諸問題	講習形態	講義・実習
開設者	長崎外国語大学	定員	50 名
開設日/時間	令和3年8月23日(月) / 9:50~17:30	会場	長崎外国語大学(長崎市) 211教室
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小中高教諭(国語・外国語・社会)
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員： 富田 高嗣 (外国語学部教授) / tomita@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 095-840-2000			
担当教員(分担担当者等) 田口 武史(福岡大学人文学部教授)・野田 雄史(外国語学部准教授)・村上 浩明(外国語学部講師)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい: 普段はあまり行うことのない「辞書」についての考察を行い、また「辞書」に関わる諸問題についても触れながら、「辞書」が学習という行為においていかなる意味を持つのかを再検証し、様々な授業において生かし得る補助教材作りの手掛かりを提示する。また、実習や討論では、異なる学校種の教諭間においてそれぞれの知見を交換することで、学習指導に関する相乗効果を目的とする。 講習方法: 講義の後に、実習や討論時間(含質疑応答)を設け、授業内容への汎用性を検討する。 講習到達目標: 1. 「辞書」に関する文化側面を理解する。 2. 学習時における「辞書」の役割について整理をし、理解する。 3. 新しい補助教材作りの着想を得る。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要) : 小中高における国語・社会・外国語等の学習において不可欠である「辞書」を巡る諸問題を作り手・使い手の視点を軸に洗い出し、「辞書」の持つ意味を再検討していく。これを基盤に、「ことば」についての考察を深め、実習においては各学校種の学習者に対し「ことば」をどのように意識させるのかについて有効な補助教材作りのヒントを提供する。その際には各学校種間の交流を通じ、より効果的なあり方について討論を行ってもらう。 講習計画・内容:			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	9:50~10:00	全員
	作り手の立場から(1) - 辞書の始まり -	10:00~11:00	野田
	作り手の立場から(2) - 辞典・事典を作る -	11:10~12:10	富田
	昼休憩	12:10~13:00	
	使い手の立場から(1) - 翻訳のために -	13:00~14:00	村上
	使い手の立場から(2) - 辞書を味方にする -	14:10~15:10	田口
	実習と討論、筆記試験(30分) ※休憩10分を含む	15:20~17:30	全員
キーワード: (翻訳) (言語) (文化) (学習者の動機づけ)			
成績評価の方法	実習、討論および筆記試験により総合的に判断する。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	適宜プリントを配布する。		
各自で準備するもの	なし。		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		